

高い／飽きない／空かない

第110回
企画展

あきない広告

ひ き ふ だ

「引札」から みた大間々



令和
7年

11月1日(土) ~
12月14日(日)

休館日……月曜日(祝日の場合は翌日)
開館時間……午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)
入館料……一般200円/小・中学生50円/幼児無料(20名以上は団体割引あり)
※身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、その介護者1名は無料
協力……松崎 靖氏



みどり市博物館
チャンネル

みどり市大間々博物館
(コノドント館)

群馬県みどり市大間々町大間々1030 TEL: 0277-73-4123 FAX: 0277-73-4145
URL <https://www.city.midori.gunma.jp/conodont>

交通案内 ◆わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分 ◆上毛電気鉄道赤城駅より徒歩15分 ◆北関東自動車道太田観塚インターより車で25分



大間々博物館HP

「引札」とは、江戸時代から昭和初期にかけて商店が配布した宣伝広告（チラシ）のことです。引札の名前には、「客を引く」「広く配る」という意味があり、目を引く錦絵風の絵図とともに商店の名前や商売の内容を入れたものが多く見られます。引札は、正月にあわせて得意先に配るため、めでたい恵比寿・大黒（福の神）がさまざまなポーズで登場したものや当時の流行・世相を反映したものなどがあります。これらの引札からは、一年の商売繁盛を願う商店の思いが伝わってきます。また、長く持つてもらうために暦や時刻表などを入れたものもあり、暦の入った引札は、現在の広告入りカレンダーの原形ともいえます。

商い／飽きない／空さない

第10回
企画展

あきない広告

ひきふだ

「引札」から みた大間々



奥村久左衛門「恵比寿大黒の鯛釣り」



夷比壽屋保治「明治廿四年略暦」



石原搾取所「謹賀新年 子供と牛乳」



須藤春吉「七福神・猪に乗った大黒」
(明治三十二年略暦付)



河内屋・岡宗一郎「乃木希典と東郷平八郎」



銭屋商店「役者絵」(明治三十六年略暦付)

みどり市大間々博物館 (コドント館)

〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1030
TEL 0277-73-4123 FAX 0277-73-4145

【交通案内】

- ❖ 電車 浅草～赤城……東武特急で1時間50分
上野～桐生……JRで約2時間
桐生～大間々……わたらせ渓谷鐵道で13分
(わたらせ渓谷鐵道大間々駅より徒歩5分)
- ❖ 車 北関東自動車道太田藪塚インターより25分

